

インド：ダーズリン、チベットの香り

イーストスプリング・アジア・ナウ

Vol.61

eastspring
investments

紅茶で有名なダーズリンは複数の文化が融合する街

ヒマラヤ山脈の麓に位置し、ブータンやシッキムに近いチベット文化の影響を受ける

- ▶ ダーズリンはインドの西ベンガル州にあるものの、地理的にシッキムやブータンに近く、チベット文化の影響を各所に感じられます。街を歩く人々の中には、日本人の顔に近い顔の人が多く、ネパール語が話されます。チベット仏教の寺院があり、チベット仏教の僧侶が街を歩く姿も見られます。
- ▶ 一方、英国統治時代に避暑地として開発されたこともあり、英国風の建物やキリスト教の教会も見られます。世界遺産になっているダーズリン・ヒマラヤ鉄道も英国の雰囲気漂わせます。ヒンドゥー教徒、イスラム教徒も住んでおり、複数の文化が融合した独特の雰囲気です。



写真、左から。世界3位の高峰カンチュンジェンガ、ダーズリン市街を歩く僧侶、ダーズリン・ヒマラヤ鉄道の蒸気機関車。



ダーズリンと言えば、紅茶!?

ダーズリンティーは“紅茶のシャンパン”と言われ、ダーズリンと言えば紅茶というイメージですが、紅茶だけでなく、緑茶やウーロン茶なども生産されています。ちょっと意外ですが、ある地元の方（仏教徒）に聞くと、朝起きてすぐは緑茶、日中はウーロン茶を飲む、とのことでした。



左写真：急峻な斜面に広がる茶畑。電線が茶畑を通っています。



右写真：街中のいたるところに茶葉のお店。

写真：ダーズリンにて弊社社員撮影。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。※また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。※また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャルとは関係がありません。